

第4回岐阜県庁舎再整備検討委員会議事概要

1. 日 時：平成27年10月6日（火） 10:00～11:10

2. 場 所：岐阜県庁4階 特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

高木座長、足立委員、岡本委員、國島委員（代理）、櫻井委員（代理）、田島委員（代理）、中川委員、猫田委員、舟口委員（代理）、松本委員、村瀬委員（代理）、矢口委員（代理）

(2) 県

知事、総務部長、総務部次長
管財課長、県庁舎再整備企画監、県有施設管理監
防災課長
公共建築住宅課長

4. 議事概要

岐阜県庁舎再整備に関する県民意見募集結果、岐阜県庁舎再整備基本構想について、事務局より資料に基づき説明。主な意見は次のとおり。

<新庁舎の規模>

- ・人に優しい環境、女性に優しい環境は整えなければならないと思う。
- ・岐阜県という地域性を踏まえて、こういう所は他県より広めにとった方が良いとか、ここは面積を少なめにした方が良いという部分もあるのではないかと思う。
- ・県民サービス機能については、ソフト面がとても大事。レストランなどが検討に挙がっているが、ターゲットをしっかりと絞ってから、面積や内容を含めて検討すべき。
- ・危機管理機能については、震災対応の経験のある県庁舎の状況を参考にして検討した方が良い。
- ・迎賓機能については、食事をしながら会議をする場合の対応をどうするのか。レセプション機能を設けるのかどうか検討した方が良い。
- ・迎賓機能のスペースは、空いている時は職員や一般来客用として使える形で設けるべき。
- ・議会の建築形態について、合築が良いかと考えていたが、他県の状況を見ると独立型としている例が多いようである。
- ・議会の独立性を考え、別に建てないといけないかなという思いは分かるが、使い勝手からいうと同じ建物の方が使いやすいと思う。

＜敷地利用・配置計画＞

- ・国道からの取り付け道路から見た場合、A案のように建物が一列に並んでいた方が、シンプルで落ち着いた形になると思う。
- ・B案にすると圧迫感があり、低い建物などにせざるを得ないと思う。A案の方が色々な建物形状を取ることが出来て良いと思う。
- ・日影の影響ということからしても、A案の方がほぼ公共スペース内で収まるので良いと思う。

＜その他重要な機能・性能＞

- ・窓にブラインドを設けると、外の空気を入れようとした時に風でバサバサと騒がしい。ひさしなど、単純なことでも省エネになるので、自然通風について有効に活用すべき。
- ・セキュリティについては非常に大切だと思う。国の庁舎のように入口で入退室管理を行うと、遠い存在になってしまう。最近の他県庁のようにセキュリティを確保しながら、県民の皆さんができるだけアクセスしやすい庁舎にすることが重要だと思う。
- ・自由に入れる所から限られた人のみ入れる部分など、セキュリティを3～4段階に分けて計画出来ると良いと思う。